



ながら SDGs 通信 第7回 目標4. 質の高い教育をみんなに



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

今月は「目標4.質の高い教育をみんなに」です。SDGsでの教育とは、就学前から初等、中等、高等教育から職業訓練までを含み、性別、年齢、人種、民族に関係なく、すべての人がじゅうぶんな教育を受けられる社会を目指します。質の高い教育は、SDGsのすべての目標に貢献する重要なものです。

これまで教育は、貧困の撲滅とともに、途上国の開発における優先事項の一つでした。とりわけ途上国では女性や女兒の教育への参加機会が改善され、結果的に、経済的な自立や健康的な暮らしにつながっているという報告があります。

日本では、持続可能な開発のための教育として、ESD (Education for Sustainable Development)が広まりつつあります。ESDは、国連教育科学文化機関（通称ユネスコ）を中心として、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、取り組むことのできる人材を育成する教育活動です。近年、学習指導要項にもESDが盛り込まれ、学校で持続可能な開発を学ぶ機会が増えました。また、学校や生徒によるESDの課外活動も年々盛んになっています。例として、筆者が審査員を務める「大学生による中高生のためのSDGs/サステナビリティアワード」では、心の健康、食品ロス、森林再生など、様々な課題に対して提案がありました。

（出典）国際連合広報センター「質の高い教育をみんなに」、
文部科学省「持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)」